
令和2年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和2年3月2日

質問者（質問順）

- 1 大岩 真善和 委員（立国フ）
- 2 斉藤 伸一 委員（公明党）
- 3 古谷 靖彦 委員（共産党）
- 4 山田 一誠 委員（自民党）
- 5 藤代 哲夫 委員（自民党）
- 6 平田 いくよ 委員（神奈ネ）

健康福祉局

局 別 審 査

1 大 岩 真善和 委員（立国フ）

1 新型コロナウイルス感染症への対応について

- (1) 現状の認識と対応について伺いたい。
- (2) 検査の受け入れ状況と今後の対応について伺いたい。
- (3) 本市の現場の状況について伺いたい。
- (4) 現場の混乱の有無について伺いたい。
- (5) 危機的状況の認識と今後の社会全般の対策について伺いたい。

2 健康福祉局の予算額について

- 2年度予算案への所感について伺いたい。

3 国民健康保険データヘルス計画の取組について

- (1) 特定健診の受診を促すための取組について伺いたい。
- (2) ナッジを活用した未受診者勧奨の取組について伺いたい。
- (意見) 多くの方が健診を受診し、病気を早期発見、予防することで健康寿命の延伸と医療費の抑制につながることを期待している。

4 がん検診について

- (1) 受診勧奨にS I Bなど新たな手法を積極的に取り入れるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (2) がん検診に線虫検査を取り入れることを検討すべきと考えるが、見解を伺いたい。

5 要介護認定事務センターにおけるR P Aの活用について

- (1) 要介護認定事務センターにおける事務の内容について伺いたい。
- (2) 要介護認定事務センターにおいてR P Aを活用するべきと考えるが、見解を

伺いたい。

- (3) 健康福祉局における他の事務作業全体についても棚卸しをしたうえで、RPAを使った自動化・省力の可能性を検討するべきと考えるが、見解を伺いたい。
(要望) 仕事改革につながるよう、業務の見直しについて主体的に行っていただきたい。その効果を検証し、新しい技術の導入を積極的に検討していただきたい。

6 認知症支援について

- (1) 認知症カフェの活動に対する支援について伺いたい。
(2) 認知症介護に有効なユマニチュードの普及について伺いたい。
(3) 認知症SOSネットワークの取組状況について伺いたい。
(4) 認知症SOSネットワークの充実に向けた取組について伺いたい。
(要望) 認知症の方が住み慣れた地域で暮らし続けられる社会となるよう、認知症施策の充実していただきたい。

7 孤立対策について

- (1) 暮らしの保健室のような地域の居場所を増やすべきと考えるが、見解を伺いたい。
(2) コーディネーターの質の向上のための取組について伺いたい。
(3) 地域に関心を持ち、地域福祉保健活動に関わる住民を増やしていくことが必要と考えるが、見解を伺いたい。
(4) 地域の身近な施設である地域ケアプラザにおいて、今後Wi-Fiの整備を進めていくべきと考えるが、見解を伺いたい。
(要望) 社会福祉施設等に対し、Wi-Fiをはじめとした様々な施策を推進し、取組を一層進めていただきたい。

8 民生委員・児童委員について

- (1) 民生委員・児童委員の役割・活動を市民に周知する取組について伺いたい。
(2) 民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくりに向けた取組について伺いた

い。

(要望) 民生委員・児童委員は地域共生社会を実現する上で大きな役割を担う存在であり、今後もしっかりとサポートしていただきたい。

9 障害者の就労について

(1) 本市における就労継続支援A型・B型事業所の過去3年間の月額平均工賃額の推移について伺いたい。

(2) 福祉的就労を充実していくには工賃を向上させる取組が必要と考えるが、見解を伺いたい。

(3) カフェを設置する目的について伺いたい。

(4) 地域での情報発信の場としての活用方法について伺いたい。

(要望) 働くことを通じて様々な人が繋がりあう地域共生社会の実現ができるよう、引き続き取組を充実していただきたい。

10 ギャンブル等依存症対策について

(1) 市内のギャンブル等依存者支援などを行う民間団体数について伺いたい。

(2) 民間団体への活動に関する支援の内容と実績について伺いたい。

(3) 民間団体と連携した今後の依存症対策の推進について伺いたい。

(要望) 民間団体の活動を支えることが重要であり、なお一層、活動を支援していただきたい。

2 齊藤伸一委員（公明党）

1 新型コロナウイルス感染症への対応について

- (1) これまでの予防や啓発に向けた取組について伺いたい。
- (2) 基本方針を受けた今後の方策について伺いたい。
- (要望) 引き続き、国や県、市医師会をはじめとした関係機関としっかり連携を取り、対処していただきたい。

2 災害時高齢者施設支援事業について

- (1) 高齢者施設の災害対策における課題について伺いたい。
- (2) 災害時の高齢者施設間の相互支援ネットワークづくりについて伺いたい。
- (3) 災害発生時に備えた地域と高齢者施設との関係づくりについて伺いたい。

3 災害時要援護者支援について

- (1) 地域への災害時要援護者名簿の提供を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (2) 地域において災害時要援護者名簿の活用を促進するための取組について伺いたい。
- (3) 今後の福祉避難所の協定締結に向けた考え方について伺いたい。

4 「8050問題」対策事業について

- (1) 相談モデル事業の内容について伺いたい。
- (2) 必要な情報を届けるための取組について伺いたい。
- (3) 区役所におけるチーム支援を進めるための仕組みづくりについて伺いたい。
- (4) ひきこもりに関する正しい理解を広める取組について伺いたい。

5 タクシー事業者福祉車両導入促進事業について

- (1) ユニバーサルデザインタクシー導入促進に向けた助成制度について伺いたい。

(2) これまでの助成の実績について伺いたい。

(3) 車両の導入助成のようなハード面の支援だけでなく、ソフト面での支援の取組について伺いたい。

6 障害者手帳のカード化推進事業について

(1) 障害者手帳のカード化に向けた具体的な進め方について伺いたい。

(2) カード化の実施をより効果的なものとするための取組について伺いたい。

(要望) 民間企業の取組状況なども視野に入れて、着実に実施していただきたい。

7 総合的な依存症対策について

(1) 地域支援計画の位置づけと目的について伺いたい。

(2) 地域支援計画策定にあたり実施する調査について伺いたい。

(3) 地域支援計画の推進について伺いたい。

8 小児医療費助成事業について

(1) 所得制限緩和のシステム改修の内容について伺いたい。

(2) 県内市町村の所得制限の実施状況について伺いたい。

(3) 所得制限の緩和の内容の具体的な方向性について伺いたい。

9 要介護認定事務センターについて

(1) 要介護認定事務センターの設置による所要日数の短縮について伺いたい。

(2) 委託化による効果について伺いたい。

(要望) 区役所の専門職が、今後さらに増えるであろう相談者にしっかり寄り添った対応ができるよう、着実に進めていただきたい。

3 古谷靖彦 委員（共産党）

1 新型コロナウイルス対策について

- (1) 現在の国内の患者発生状況、うち県内発生状況について伺いたい。
- (2) 現在の市内の状況についての認識と今後の見通しについて伺いたい。
- (3) 新型コロナウイルス感染症コールセンターの実績のトレンドについて、またコールセンターにどのような声が寄せられているのか伺いたい。
- (4) 市民の不安、困っている事に対する認識について伺いたい。
- (5) 新型コロナウイルス感染症帰国者・接触者相談センターにはどのような相談が寄せられているのか伺いたい。
- (6) PCR検査に回される数が少ないのではないかと考えるが、見解を伺いたい。
- (7) 市民病院等での検査体制整備などPCR検査体制拡充の考え方について伺いたい。
- (要望) この1、2週間が大事であり、全市をあげて体制の拡充を図っていただきたい。
- (8) 国の方針に従い、重症患者のみ検査し、無症状や軽症の患者には検査しないと市中での感染を拡大させてしまうのではないかと考えるが、見解を伺いたい。
- (9) 医師の判断で検査ができる体制を至急整えるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (10) 検査体制が整うまでは医師の判断で仕事を休める診断書を出せるようにしてはどうかと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 有給休暇で対応することとは違うと考えるので、検討いただきたい。
- (11) 自宅での過ごし方の注意を周知すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (12) 市内の帰国者・接触者外来の設置状況について伺いたい。
- (13) 帰国者・接触者外来は足りているか伺いたい。
- (14) 多くの軽症者の通院が見込まれる民間市中病院に必要な対策について伺いたい。

- (15) 備蓄の活用も含めた市内医療機関のマスク不足への対応について伺いたい。
- (16) 民間市中病院のマスク不足への対応について伺いたい。
- (要望) 介護施設や学童クラブ、放課後キッズクラブについても対応いただきたい。
- (17) 高齢者にはマスクを支給すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (18) 衛生研究所、新型コロナウイルス感染症帰国者・接触者相談センターの従事状況、人の手当ての考え方について伺いたい。
- (19) これまでの対策費用について伺いたい。
- (20) 補正予算を組むべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 速やかに対応し、補正予算を組んでいただきたい。

2 要介護認定事務センターの設置について

- (1) 本市における要介護認定の申請から決定までの期間の状況と遅れている理由について伺いたい。
- (2) 認定決定が遅れることの影響をどう捉えているのか、見解を伺いたい。
- (3) 先行して要介護認定事務センターを設置した政令市の状況について伺いたい。
- (4) 認定結果が、暫定で実施していたケアプランよりも軽い要介護度となった場合、すでに実施したサービス費用は誰が負担するのか伺いたい。
- (5) 暫定プランよりも軽い認定結果となった場合、本人の不利益とならないよう、国に制度の見直しを求めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 他都市の事例を考慮し、慎重に検討していただきたい。

4 山 田 一 誠 委員（自民党）

1 東部方面斎場（仮称）整備事業について

- （１）事業の進捗状況について伺いたい。
- （２）交通面や環境面への影響に対し、どのような対応を考えているのか伺いたい。
- （３）新たな障害者の就労の場としても考えるべきと思うが、見解を伺いたい。

2 障害者のスポーツ・文化について

- （１）ラポール上大岡の取組の特徴について伺いたい。
（要望）障害のある方が、それぞれに合ったスポーツ・文化活動に取り組めるよう、サポートを継続していただきたい。
- （２）ラポールでパラリンピック開催時に検討しているイベントについて伺いたい。
（要望）多くの市民、障害のある方が参加し、盛り上がりにつながるよう取り組んでいただきたい。
- （３）ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2020 の意義について伺いたい。
（意見）多様な側面から取組を行うことで、障害者スポーツや文化活動を通じた障害理解を進め、誰もが相互の個性の差異や多様性を尊重し、認め合う社会が実現することを期待している。

3 障害者差別解消・障害理解の推進について

- （１）情報保障の取組について伺いたい。
- （２）事例の活用を含めた啓発活動の内容について伺いたい。
- （３）障害者差別解消支援地域協議会や外部機関と協働した普及・啓発の取組状況について伺いたい。
- （４）障害者差別解消に向けた取組の考え方について伺いたい。
（要望）様々な施策を今まで以上に充実させていただきたい。

4 総合的な依存症対策について

- (1) 依存症と生活再建に関する相談支援の連携について伺いたい。
- (2) 依存症対策における生活再建の観点からの関係者との連携について伺いたい。
- (要望) 依存症対策の推進にあたっては、生活再建に係る観点にも留意して取り組んでいただきたい。

5 生活困窮者自立支援事業について

- (1) 生活困窮者自立支援事業における相談実績について伺いたい。
- (2) 「家計改善支援事業」の実施状況について伺いたい。
- (3) 本市の生活困窮者自立支援制度の充実に向けた展望について伺いたい。
- (要望) 全ての人が安心できる社会が実現するように取り組んでいただきたい。

6 認知症施策の推進について

- (1) 認知症初期集中支援チームの実績及び効果について伺いたい。
- (2) 認知症の増加に対応できるようチームを拡充していくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 認知症施策推進計画の方向性について伺いたい。
- (要望) 認知症になったとしても、本人の意思が尊重され地域社会の中で安心して暮らせるよう、今後の認知症施策の更に充実させていただきたい。

7 成年後見制度について

- (1) 身近な相談支援機関への支援について伺いたい。
- (2) 区の協議会での利用促進の取組について伺いたい。
- (3) 高齢者の成年後見制度利用支援事業の実績について伺いたい。
- (4) 障害者の成年後見制度利用支援事業の実績について伺いたい。
- (5) 成年後見報酬の見直しが行われる中での本市の考え方について伺いたい。

8 予防接種事業について

- (1) ロタウイルスを定期予防接種に追加する意義について伺いたい。

- (2) 新たな予防接種の周知方法について伺いたい。
- (3) 風しんの成人男性への定期予防接種（第5期定期予防接種）の対象者数と接種実績について伺いたい。
- (4) 対象世代の方に対する啓発について伺いたい。
- (5) 今後の方策について伺いたい。

5 藤代哲夫委員（自民党）

1 地域包括ケアの実現に向けた取組について

- (1) 共同研究の成果と今後の見通しについて伺いたい。
- (2) 小地域での分析結果の活用方法について伺いたい。
- (3) 区アクションプラン改定の方向性について伺いたい。
- (要望) 地域包括ケアシステムの実現に向けて、それぞれの政策・事業を着実に進めていただきたい。

2 高齢者の介護予防・社会参加の取組について

- (1) 元気づくりステーションの過去3年間の推移について伺いたい。
- (2) 元気づくりステーションに参加することで得られる効果について伺いたい。
- (3) 元気づくりステーションの今後の方向性について伺いたい。
- (4) プロボノ事業の今後の展開について伺いたい。
- (要望) 介護予防や社会参加の取組を、より一層充実していただきたい。

3 認知症施策の推進について

- (1) 若年性認知症支援の取組状況について伺いたい。
- (2) 若年性認知症支援の今後の進め方について伺いたい。
- (要望) 住み慣れた地域での暮らしが続けられるよう、若年性を含めた認知症対策全体について、施策を強く推進していただきたい。

4 障害者スポーツ・文化活動について

- (1) ラポール上大岡における地域に向けた発信の具体的な取組内容について伺いたい。
- (2) パラリンピック関連イベントで競技に親しむ機会を作るべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) ヨコハマ・パラトリエンナーレ2020での市民交流や障害理解・啓発の取組状

況について伺いたい。

(4) 障害者が身近な場所でスポーツや文化活動を楽しめる環境づくりの取組をさらに進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。

(意見)障害のある方と健常者の結びつきも重要であり、地域で様々な連携を進め、障害者スポーツ・文化活動がより一層普及していくことを期待する。

5 総合的な依存症対策について

(1) 依存症者支援における民間団体との連携について伺いたい。

(2) 地域支援計画策定に当たって、関係者の意見の取り入れ方について伺いたい。

(3) 横浜型の総合的な依存症対策の推進に取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 総合的な依存症対策に、より一層力を入れて取り組んでいただきたい。

6 がん検診について

(1) 大腸がん検診の受診者数の推移について伺いたい。

(2) 大腸がん検診の広報について伺いたい。

(3) 今後のがん検診事業の方向性について伺いたい。

1 依存症対策について

- (1) IR推進事業における「横浜市民に対する娯楽と生活習慣に関する調査」と健康福祉局の関わりについて伺いたい。
- (2) 施策体系から考えると実態調査は健康福祉局が所管すべきであったと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) カジノが誘致された場合、依存症患者はどれくらい増えるかと考えるか、伺いたい。
- (4) 市民の暮らしや健康に大きく影響するカジノ誘致の政策について、見解を伺いたい。
- (要望) ギャンブル依存症の増加がもたらす社会的損失を理解し、ブレーキの役割を果たしていただきたい。

2 介護保険事業について

- (1) 総合事業におけるサービスBの実績について伺いたい。
- (2) 利用者数の実績のうち、「要支援者等」以外はどのような方か伺いたい。
- (3) サービスBについて要支援者の利用がなければ総合事業として適切ではないと考えるが、見解を伺いたい。
- (意見) 介護保険会計の中で行うべき事業であるか、よく考えていただきたい。
- (4) サービスAについて、担い手であるヘルパーの裾野は広がっているか伺いたい。
- (5) 訪問事業所は経営が厳しい、担い手がないと聞いているが、その対策について伺いたい。
- (6) 新型コロナウイルス感染症対策において、発熱等により通所系サービスを断った場合に訪問系サービスで対応することについて、本市の見解を伺いたい。
- (7) 高齢者施設等へのマスク、消毒用アルコール等の備蓄の放出に向けた取組状況について伺いたい。

- (8) マスク、消毒用アルコール等の備蓄の放出可能量及び時期について伺いたい。
- (要望) 不足しているマスクや消毒用アルコールの配布など、現場を支援していただきたい。
- (要望) ヘルパーが在宅サービスを支えていることがセーフティネットとなっており、その重要性を踏まえて次期計画を策定していただきたい。